

Ⅲ 健康

心身の健康は、あらゆる人間生活にとって極めて重要な基盤である。したがって本学は、学生の入学から卒業まで、全学生対象の定期健康診断および日常的な保健活動により、学生の心身の健康に格別な配慮をしている。

日常的な保健活動は、医務室を基幹として実施されている。その業務内容は、①学生の健康診断に関すること、②保健指導および健康相談に関すること、③救急処置に関すること、④学内の環境衛生の維持および改善、などである。医務室は、毎日午前8時半から午後4時半まで開かれ、終日勤務の専任養護担当者が学生に対応している。対応の具体的な内容は、大別して、内科的なもの、外科的なもの、および精神衛生的なものである。症状の軽いものでは生活指導のうえ経過観察を行い、状態によっては常備薬を投与し、緊急の場合には医療機関を紹介したり付き添ったりする。なお、定期健康診断の時期以外に専門医の診断治療を要するものについては、本学の学校医（内科3医院）のほか、眼科や外科等の医療機関に連絡をとり、学生の便宜を図っている。

精神衛生的な問題をかかえる学生は漸次増える傾向にあり、医務室では学生の相談を受け、状況に応じてカウンセラーによる健康相談（カウンセリング）を受けるように指導している。当初、カウンセリングは月2回、富山医科薬科大学から精神科医師を嘱託として迎えてきた。1999年度からは、非常勤のカウンセラーによる週1回カウンセリングを実施する体制としたが、その後の相談件数の増加に伴い、2001年度からは週2回、2008年度からは週3回と実施回数を増やし、心身の様々な悩みを持つ学生からの相談に対応している。

表5.1 健康相談の件数（相談に訪れた学生数）

年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
養護担当職員	10	12	14	12	18	27	48	51	55	77
カウンセラー	12	20	11	10	11	12	9	29	27	12
合計	22	32	25	22	29	39	57	80	82	89

表5.2 学生サークル数の推移

年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
文科系	15	13	13	13	11	12	14	14	13	14
体育系	21	20	17	18	24	22	19	19	19	17
計	36	33	30	31	35	34	33	33	32	31